

01

A P R I L・木

仮庵の祭りの神殿

レビ 23:33～44 あなたがたは七日間、仮庵に住まなければならない。イスラエルで生まれた者はみな、仮庵に住まなければならない。これは、わたしが、エジプトの国からイスラエル人を連れ出したとき、彼らを仮庵に住ませたことを、あなたがたの後の世代が知るためである。わたしはあなたがたの神、主である。」(42～43)

新 438 番 恵みに満たされ (旧 495 番 恵みに満たされ)

- 聖句暗唱_ II コリ 5:17
- 聖書通読_ 使 16 章

Q.

三つの祭りの祝福

過越祭は暗やみとサタン、すべての暗やみの権威から抜け出した救いです。

五旬節は聖霊の満たしの日です。仮庵祭^(収穫祭)には天の背景と天国の奥義が含まれています。

三つの祭りは日を守る祭りではありません。祭りに含まれた神様の祝福をずっと味わう集中です。

仮庵の祭りは、天の背景、天国の奥義を言います。一言で、神の国のことが起きて、サタンのことを滅ぼすのです。神の国は神様の無限の世界へ入ることを言います。私たちは仮庵の祭りを通して神の国に集中して、いつも味わっていなければなりません。どのようにすれば、仮庵の祭りの祝福を味わうことができるのでしょうか。

1. いやしの奥義

神の国のことには、私たちの刻印、根、体質をいやすことができる奥義が入っています。この奥義である神の国のことによって、私たちは完全にいやされることができます。このいやしの奥義に集中するのです。私たちがこの契約を握るなら、答えは必ずきます。

2. わざわいを止めて世界福音化する奥義

神の国のことは、無限の力があります。その力によってだけ、世の中のわざわざいを止めることができます。私たちの考えと信仰、心を神の国のことに集中するなら、必ず神様の働きを見るようになります。さらに、全世界に福音を宣べ伝える世界福音化の祝福と現場に神の国が臨む祝福を見るようになるでしょう。

神の国の祝福をずっと味わって、伝えることが重要です。このことを、生まれ育つ次世代に伝えなければなりません。神の国の力なら、私たちの家庭、家系だけでなく、現場と世界までも十分に変えることができます。

契約の祈り

単純な仮庵の祭りではなく、神の国のことを見ることができますように。神様の力ですべてを生かしますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

02

A P R I L・金

供えのパンを食べる神殿

レビ 24:1～9 彼は安息日ごとに、絶えずこれを主の前に、整えておかなければならない。これはイスラエル人からのものであって永遠の契約である。これはアロンとその子らのものとなり、彼らはこれを聖なる所で食べる。これは最も聖なるものであり、主への火によるささげ物のうちから、彼の受け取る永遠の分け前である。」(8～9)

新 320 番 わが罪きよめて (旧 350 番 わが罪きよめて)

- 聖句暗唱_ II コリ 5:17
- 聖書通読_ピリ 1～2 章

Q.

神様の絶対性

絶対主権

神様は私たちに重要な計画を準備して絶対主権の中で呼ばれました。

絶対計画

神様は各人に絶対計画を備えておられます。この事実を信じて、すべてのことで神様の計画を見つければ良いのです。

絶対契約

絶対主権の中にある絶対計画を見つければ神様が隠された絶対契約が発見できます。私の契約として握るみことばが見えるのです。

絶対旅程

神様の絶対契約に従って歩む道です。

絶対目標

神様の絶対目標に向かって行くのです。

現場の人々は、いろいろな困難を訴えます。その人々が体験する困難は、創世記 3 章で始まった霊的問題から始まりました。それゆえ、どんな人も直すことはできません。イスラエルの民もやはり、そのような困難がいっぱいある荒野の現場にいました。そのとき、神様は供えのパンを食べる神殿を言われます。なぜこのようなみことばを与えられたのでしょうか。

1. 正しい礼拝

神様は教会を 24 時間祝福されて、その教会を通してみことばをくださいます。このみことばが天幕に伝えられるとき、25 時の祝福につながります。それゆえ、神様は常に福音が伝えられる神殿を注目しておられます。また、神様は、役割をする教会から成就するみことばが宣言されるように導かれます。これが私たちの現場に伝えられる祝福を通して神様のみこころが成り立ちます。

2. いのち運動と永遠の祝福

正しい礼拝は必ずいのち運動につながります。礼拝はいのちで人を生かして、子孫には永遠の契約として伝えられます。正しい礼拝には、キリストがすべての問題を解決されたという福音を伝えるまことの祭司の祝福も含まれています。これこそが、この時代に供えのパンを食べる神殿をたてる私たちが受ける永遠の祝福です。

絶対主権で私たちを呼ばれた神様は、絶対計画を成し遂げる絶対契約を与えてくださいました。このような私たちが行く契約の旅程の中で、神様は絶対目標を成し遂げられるでしょう。

契約の祈り

礼拝を通して福音を味わい、現場に福音を伝える証人になりますように。これを私たちの永遠のおきてとして味わいますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

03

A P R I L・土

あらかじめ準備

マタ 4:19 イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」

新 500 番 なみさかまく世の海 (旧 258 番 なみさかまく世の海)

- 聖句暗唱_ II コリ 5:17
- 聖書通読_ピリ 3~4 章

イエス様は弟子を伝道者にしてあげると言われました。この時代を生きていく神の子どもは伝道者です。そのアイデンティティを持って、聖書と教会史に記録された伝道者のように、聖書的で福音的であり、確実な伝道コンテンツを作らなければなりません。それとともに、トラップンでは、伝道者の生活 62 を個人化しなければなりません。どのように、このコンテンツを握って味わうべきでしょうか。

1. アイデンティティと霊的な力

イエス様は問題を解決しなさいとは言われませんでした。その姿そのまま、わたしのところに来なさいと言われました。マタ 11:28~30 また、専門性を持ちなさいと言われず、ついて来なさいと言われました。マタ 4:19 多くの仕事をさせるためでなく、ともにいるためです。マコ 3:13~15 このときに与えられる力が、霊的な力です。この事実を信じる者は誰であっても、神様は天と地のすべての権威を持って御座の祝福とともにいて、力を与えてくださいます。マタ 28:20、マコ 16:19~20、使 1:8

2. 伝道コンテンツ

誰もできないことをすべきです。Nobody すると必ず Everybody に変わります。何もないことから始めて、すべてを生かすべきです。Nothing → Everything また、正しい始まりができてこそ、正しい働きができます。このとき、必ず点検しなければならないことがあります。正しい目標です。

神の子どもは世の中に出て行く前に、あらかじめシステムを作らなければなりません。そして、あらかじめ体験して、あらかじめ伝達しなければなりません。

契約の祈り

伝道コンテンツをあらかじめ作って体験して伝達することができますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

Q.

カトリックとキリスト教の根本の差

カトリックとキリスト教が根本的に違っているのは救いです。カトリックは救いをそんなに簡単に受けることではないと話します。

「私はイエスを信じて救われた」というこの話を、まだカトリックでは理解できません。カトリックは、何かをたくさん積まなければならないと話します。神様を信じない人々が聞けば、その話が正しいと思えます。

しかし、原罪は努力で解決できることではありません。この点がとても重要です。原罪はキリストを信じる瞬間に終わるのです。カトリックでは、まだこの話を理解できません。

「どのようにすでに救われるのか」と話します。これを宗教と言います。こういう恐ろしい教理を、今、神父が知らずにいます。しかし、イエス・キリストによって、すべての暗やみの権威は終わったのです。